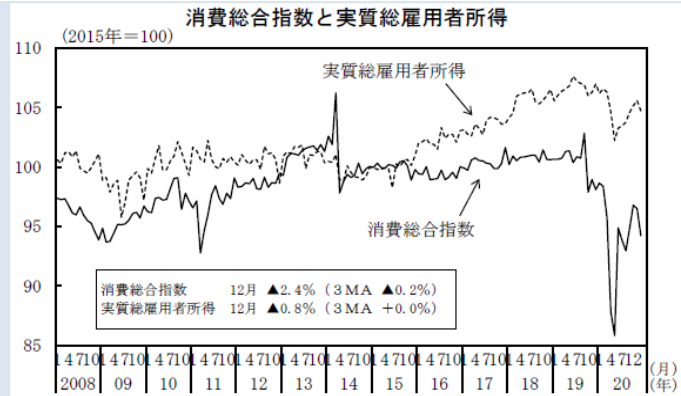


月例経済報告（2021年2月）

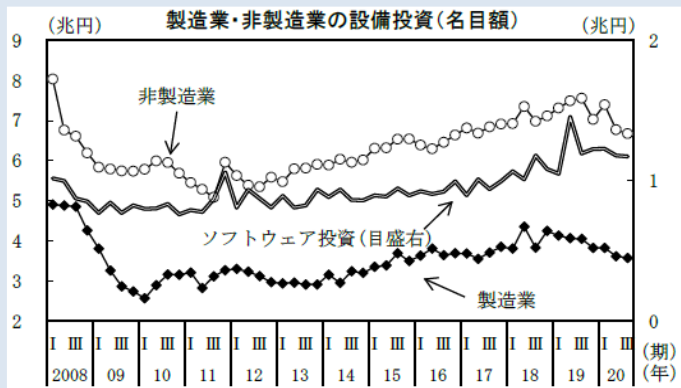
● 月例経済報告（2/19）

基調判断	(2月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。 緊急事態宣言の解除後も感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
	(1月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。 感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

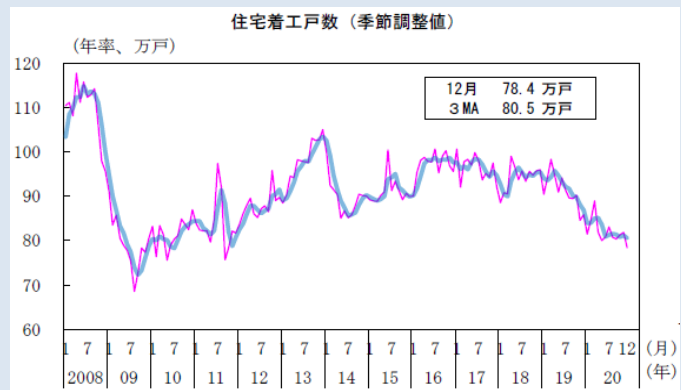
個人消費	(2月) <u>このところ弱含んでいる。</u>
	(1月) 持ち直しの動きに足踏みがみられる。



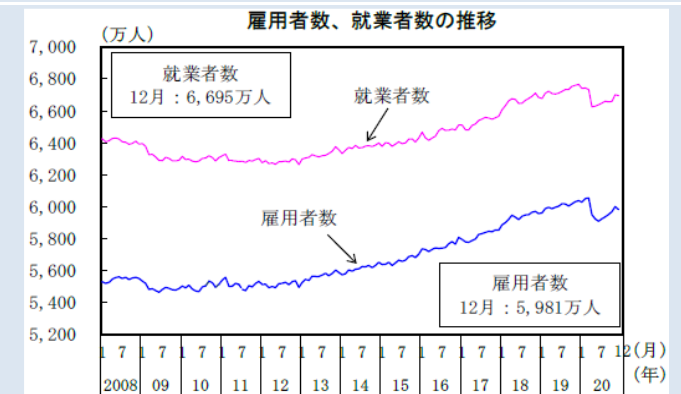
設備投資	(2月) <u>このところ持ち直しの動きがみられる。</u>
	(1月) 下げ止まりつつある。



住宅建設	(2月) おおむね横ばいとなっている。
	(1月) おおむね横ばいとなっている。



雇用情勢	(2月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。
	(1月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。



生産	(2月) 持ち直している。																									
	(1月) 持ち直している。																									
輸出	(2月) 増加している。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <tr><td>全体</td><td>1月</td><td>+2.5%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+1.6%</td></tr> <tr><td>アジア</td><td>1月</td><td>+6.7%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+3.9%</td></tr> <tr><td>アメリカ</td><td>1月</td><td>+1.4%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>▲1.9%</td></tr> <tr><td>EU</td><td>1月</td><td>▲8.4%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>▲5.5%</td></tr> </table>	全体	1月	+2.5%		3MA	+1.6%	アジア	1月	+6.7%		3MA	+3.9%	アメリカ	1月	+1.4%		3MA	▲1.9%	EU	1月	▲8.4%		3MA	▲5.5%
	全体		1月	+2.5%																						
	3MA	+1.6%																								
アジア	1月	+6.7%																								
	3MA	+3.9%																								
アメリカ	1月	+1.4%																								
	3MA	▲1.9%																								
EU	1月	▲8.4%																								
	3MA	▲5.5%																								
国内企業物価	(2月) このところ緩やかに上昇している。																									
	(1月) このところ緩やかに上昇している。																									
消費者物価	(2月) 横ばいとなっている。																									
	(1月) 横ばいとなっている。																									
海外経済	<p>(2月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の再拡大が経済活動に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p> <p>(1月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。先行きについては、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症の再拡大が経済活動に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>																									

月例経済報告：内閣府